

科 目 名

情報処理基礎 Introduction to Computers

1年 前期 2単位 必修

青 木 孝 房
田 上 晃
石 井 貴 典

概 要

情報化社会と叫ばれて久しい今日において、コミュニケーション・プレゼンテーション・情報検索といった情報処理能力は必要不可欠である。

本授業では、これから大学生活・社会生活を送るうえで必要なコンピュータの基礎的な操作を演習を通じて習得する。また、大学内のネットワーク利用方法についても解説するので学生諸君は全員履修すること。

目 標

1. パソコン (Windows) の基本操作の習得
2. OA ツールの基本操作の習得 (ワープロ、表計算、プレゼンテーション)
3. インターネットの基本操作の習得 (メール、WWW)
4. ネットワーク社会における情報倫理の習得

授業計画

テ ー マ	内 容
① Windows の基本	オリエンテーション、タッチタイプ
② 日本語入力	日本語入力の演習
③ 文書の作成	簡単なワープロ文書の作成 1
④ 文書の作成	簡単なワープロ文書の作成 2
⑤ 文書の作成	課題演習
⑥ 表計算とグラフ	表の作成とグラフ表示
⑦ 表計算とグラフ	表の操作・関数
⑧ 表計算とグラフ	課題演習
⑨ 電子メールとインターネット	電子メールの操作 (ノート PC 保有者は持参のこと)
⑩ 電子メールとインターネット	インターネットの基礎、情報倫理、電子メール課題
⑪ ホームページの作成	WWW の基礎、1行ホームページ作成
⑫ ホームページの作成	自分のホームページ作成
⑬ プレゼンテーション	プレゼンテーションの作成
⑭ プレゼンテーション	プレゼンテーションの作成・発表、まとめ
⑮ 定期試験	

授業方法

1人1台のパソコンを使い演習形式で授業を進める。テキスト・補助テキストを配付する。E-Learning ツール (WebClass) を使ってコミュニケーションを図る。

学習到達度の評価

授業の区切りでは課題又は成果物を提出させる。必要に応じて e-Learning ツールを使った小テストを行い、理解度をみる。

評価方法

課題を全て終了し、課題 (50点)・定期試験 (50点) の合計で評価する。60点以上を合格とし、満たなければ再試験を行なう。

教 材

- ・ 崇城大学電子計算機センター編「情報処理基礎ガイドブック」
- ・ 外部媒体 (USB メモリ、フロッピーディスク) を使用するので各自購入しておくこと。

科 目 名

情報処理基礎 Introduction to Computers

1年 前期 2単位 選択
(情報学科)

安 藤 忠
石 井 貴 典
(青 木 孝 房)

概 要

今日の情報教育は、インターネットをはじめとする情報コミュニケーションの操作や様々なアプリケーションなどの操作の習得を必要としている。従って本教科では授業で必要となるコンピュータの基礎的な操作技術を習得させ、さらに情報倫理についても論じる。また、後期に実施する「特別講義Ⅰ」では卒業研究や大学院の研究において不可欠なより高度な情報処理を習得する。

目 標

- 1) タッチタイピング (100字/分) と OS (Windows、UNIX) の基本操作の習得。
- 2) レポートや卒論の作成に必要なワープロの基本操作の習得
- 3) インターネットにおける情報の受信、発信、返信等の操作の習得
- 4) 情報化が社会に及ぼす影響とインターネットを利用する際の情報モラルの習得

授業計画

テ ー マ	内 容
① Windows の基本操作	オリエンテーション、パソコンの起動終了、Windows 操作
② 日本語入力	漢字変換、ファンクションキー、OLE 機能
③ タッチタイピング	達成度を (100字/分)、正解率を90%に設定
④ Word による文書作成	ビジネス文書の各部名称、文書スタイルの設定、入力
⑤ Word による文書作成	編集、罫線枠の作成と文字位置
⑥ Excel による表計算	表計算ソフトの3大機能、表作成
⑦ Excel による表計算	データの入力、修正、列行の挿入、削除、セルの操作
⑧ Excel による表計算	計算式の入力、検索、ソート、グラフ作成
⑨ 電子メールとインターネット	Web メールへの起動、送信、受信
⑩ 電子メールとインターネット	Signature の登録変更、アドレス帳の作成
⑪ ホームページの作成	ブラウザの機能、HTML 言語、文書入力
⑫ ホームページの作成	文書中のタグの解説、文書のアップロード
⑬ プレゼンテーション	起動とスライドの作成、装飾
⑭ 情報社会	情報化が社会におよぼす影響
⑮ 情報倫理	知的所有権、情報の発信責任、判例

授業方法

1人1台のパソコンを使い演習形式で授業を進める。資料を配付、PowerPoint を用い理解度を深める。

学習達成度の評価

授業の区切りでは課題を提出させ、小テストを行い、理解度をみる。

評価方法

課題は全て終了し、課題 (60点)、小テスト (20点)、定期試験 (20点) の合計点で評価する。

教 材

テーマごとに資料を配付、外部メモリ媒体として MO か USB メモリを用意させる。

科 目 名

情報処理基礎 Introduction to Computers

1年 前期 2単位 選択
(宇宙航空システム工学科)

金 澤 康 次
白 石 和 彦

概 要

情報化の急速な進展を背景に、大量の情報を的確に選択・処理することやコンピュータや情報通信ネットワークを適切に活用する能力が求められている。また、情報が及ぼす影響やこれを利用する上での態度を再認識する必要性もある。本講義ではこの様な背景のもとに、情報社会に主体的・効率的に対応するための必要な能力と態度を習得することを目的とする。

目 標

- ① コンピュータやネットワークを活用し、情報を収集・処理・発信出来るようになる。
- ② コンピュータの機能や仕組み、効果的な活用、保守・管理が出来るようになる。
- ③ 情報社会の役割や影響を理解し、これを利用する上での態度と姿勢を身に付ける。

授業計画

テ ー マ	内 容
① 序論	オリエンテーション、コンピュータの歴史
② 情報基礎Ⅰ	コンピュータの種類、ハードウェア、構成部品、入力装置
③ 情報基礎Ⅱ	処理装置、記憶装置、出力装置、ネットワーク
④ 情報基礎Ⅲ	情報の表現と量、ソフトウェアの役割
⑤ 情報基礎Ⅳ	コンピュータが内蔵されている機器、社会生活とコンピュータ
⑥ 情報基礎Ⅴ	情報モラル教育、情報セキュリティ
⑦ 基本操作Ⅰ	Windows 基本操作
⑧ 基本操作Ⅱ	各種設定
⑨ 基本操作Ⅲ	タイピング
⑩ 基本操作Ⅳ	電子メール
⑪ ソフトウェア操作Ⅰ	ワードの基本操作
⑫ ソフトウェア操作Ⅱ	ワードの基本操作
⑬ ソフトウェア操作Ⅲ	エクセルの基本操作
⑭ ソフトウェア操作Ⅳ	エクセルの基本操作
⑮ 試験	

授業方法

講義と演習を適宜織り交ぜて行う。

学習到達度の評価

- ① 授業中に教員より質問し理解度を促す。
学生からは授業中および終了時に質問を受け、授業を補足する。
- ② 毎回の実技演習や適宜レポートを課して、授業の理解度を促す。
- ③ 試験結果や学生による授業評価を今後の授業の参考とする。

評価方法

出席状況、課題レポート、実技試験の総合により評価する。

教 材

WWW、PDF 資料、プリントなど適宜。

履修上の注意

ノートパソコンを持参すること。持参出来ない場合は、受講に支障をきたします。
課題レポートは提出期限までに必ず提出すること。提出なき場合には単位を与えない。